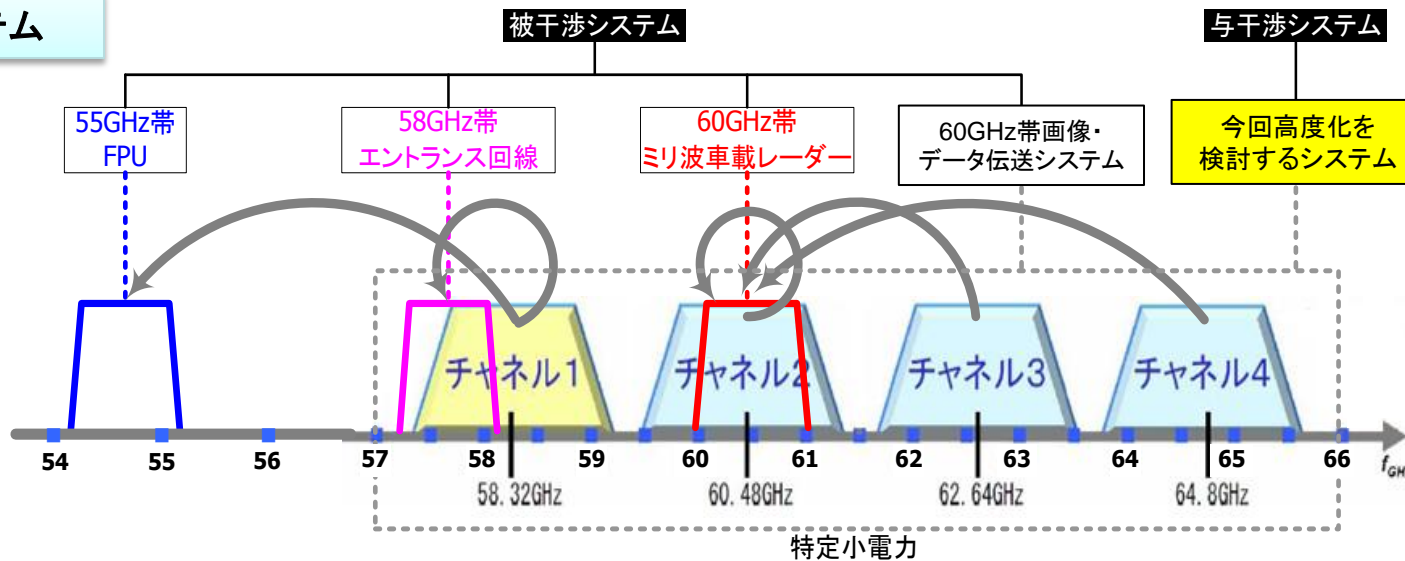


与干渉システム

	周波数(GHz)	空中線電力	空中線利得
60GHz帯無線システム	57~66	30dBm,25dBm, 20dBm,10dBm(現行)	25dBiを上限として、可変とする。

被干渉システム



	周波数帯(GHz)	与干渉システムとの関係	諸元
FPU	54.25~55.78	隣接周波数帯	ARIB STD-B43
エントランス回線	55.78~59	同一周波数帯	実利用システムから引用
ミリ波車載レーダー	60~61	同一周波数帯	ARIB STD-T48
画像伝送/データ伝送	57~66	同一周波数帯	ARIB STD-T69/ IEEE802.11ad、WirelessHD

干渉検討の進め方について(案)

評価方法

- 以下に示す2つの方法において評価を行う。
 - ・被干渉システムの利用シーンに応じて、干渉モデルを定義し、電波伝搬解析と干渉計算を行って所要改善量や場所率を求めて評価する「シミュレーション評価」。
 - ・所要改善量や離隔距離を机上計算で求めて評価する「机上計算評価」。
- 各評価においては、与干渉システムの空中線電力、アンテナ利得、アンテナ放射角等を変え、計算。

各システムとの評価方法

被干渉システム	評価方法
FPU	机上計算
エントランス回線	シミュレーション・市街地モデル
自動車レーダー	シミュレーション・交差点モデル
画像伝送／データ伝送	机上計算／シミュレーション・会議室モデル

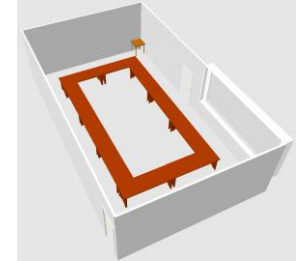
交差点



市街地



会議室



評価方法の概念図

